

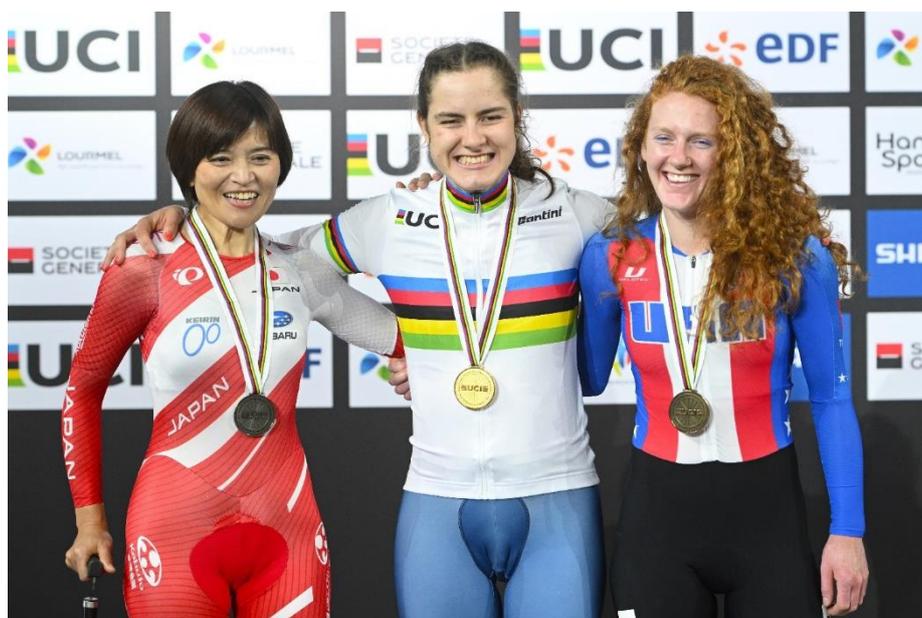
PRESS RELEASE

パラアスリート・杉浦佳子選手

「2022 UCI パラサイクリング トラック世界選手権」2種目で銀メダル！

～500m予選では世界新記録を樹立～

当社社員のパラアスリート・杉浦佳子選手が、2022年10月20日～22日に開催された「2022 UCI（国際自転車競技連盟）パラサイクリング トラック世界選手権」（フランス・サン＝カンタン＝アン＝イヴリーヌ大会）の2種目で銀メダルを獲得し、500mのタイムトライアル予選では世界新記録を樹立しました。



左が杉浦佳子選手 @JPCF

■出場大会、成績（記録）

- 10月20日開催 WC3※ 距離500mタイムトライアル
 - ・予選 1位（記録：39秒004）※世界新記録を樹立
 - ・決勝 銀メダル（記録：39秒557）
- 10月22日開催 WC3 距離3km個人パシュート（個人追い抜き）
 - ・予選 2位（記録：4分01秒337）
 - ・決勝 銀メダル（記録：4分00秒661）

※女性の運動機能障害クラス

<杉浦佳子選手コメント>

500mタイムトライアルでは初めての予選・決勝スタイルのレースであり、予選では世界新記録を出すことができました。しかし決勝では力が及ばず、課題が見えました。3km個人パシュートはこれまでの最高順位が5位でしたので、決勝進出を目標として出場しました。2種目とも過去を上回る結果を出すことができましたが、もう一段階上に立ちたいという気持ちを確認することができました。2年後のパリパラリンピックの競技場で走ることができた経験を活かし、より一層努力してまいります。今後ともご指導、ご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

■杉浦佳子選手について

大学卒業後は薬剤師として勤務。2013年にスポーツファーマシストの資格を取得し、薬学的知識を生かしてアスリートのサポートや講演活動に尽力。

2016年にロードレース大会中に落車し、脳挫傷、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨・鎖骨・肋骨・肩甲骨を粉砕骨折、三半規管損傷という重傷。医師からも当初は回復が難しいと診断を受けるも、懸命なリハビリを重ね、2017年にパラサイクリング選手としてレースへ奇跡的に復帰。以降2年続けてロードレースの世界選手権で優勝し、2018年には国際自転車競技連合からその年に最も活躍した選手に選ばれました。2021年の東京パラリンピックでは、女子個人ロードタイムトライアルと女子個人ロードレースで金メダルを獲得し、パラリンピックの選手の中では「日本人最年長金メダリスト」となりました。2022年5月に当社へ入社。同年8月開催のUCIパラサイクリングロード世界選手権では金メダルに輝き、アルカンシェルジャージ（UCI開催の世界選手権大会の優勝者に与えられるジャージ）を獲得しています。現在は2024年開催予定のパリパラリンピック出場を目指し、日々活動中です。

当社グループは、「すべての人々にとってかけがえのない、価値ある企業になる」という考え方のもと、社員一人ひとりが強みや能力を発揮できる職場環境を目指して、総合メディカルに専門部署を設けるなど、障がい者雇用の促進および環境整備に注力しています。

今後とも、杉浦佳子選手への応援をどうぞよろしくお願いいたします。

【総合メディカルグループ株式会社】

<https://www.sogo-medical.co.jp/>

所在地：東京本社 東京都千代田区大手町一丁目7番2号

福岡本社 福岡市中央区天神二丁目14番8号

代表者：代表取締役社長 坂本 賢治

事業内容：医業経営コンサルティング、医療モールの開発・運営、医療機関への医師の紹介、医師の転職・開業支援、医業継承支援、保険調剤、一般薬・介護用品の販売、医療機器などのリース・販売、入院患者向けテレビのレンタルなど

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカルグループ株式会社 総務部 広報グループ
東京都千代田区大手町一丁目7番2号 TEL：03-5255-6620